

令和6年2月23日

南の風 OQT (オリンピック女子最終戦) 特集号Ⅶ

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

特集号Ⅶ野続きです。本号で特集をまとめます。

恩塚ヘッドは、最終の代表12人に選ばれた選手の中でも吉田 亜沙美選手について次のように話しています。「彼女の存在は大きいです。人を奮い立たせるような言葉を持っています」と語った後、「言っているのかな、怒られちゃうかもしれない」と少し悩んだあとで彼女の知られざる振る舞いを教えてくれました。「チーム練習の2時間以上前から、誰よりも早く体育館に来ています。みんなその姿を知っているからこそ、彼女の言葉には重みがある。また、愛のある言葉もかけてくれますし、馬鹿になって盛り上げてくれます。彼女のおかげもあって、ハンガリー戦で負けた後も下を全く向かず、『むしろ燃えるよね』という感じになれました。感謝しています」

吉田 亜沙美選手は2度の引退を経て、4年ぶりに代表復帰を果たしました。そしてコート内外で、これまでのチームにない安心感をもたらしていたようです。

さて、日本にとって次の舞台は、言うまでもなくパリオリンピックです。今回のOQTは3試合という短期決戦ということで『走り勝つシューター軍団』という1つのプランで進めることができました。

しかしオリンピックで目標とする金メダルを獲得するには、今回の倍以上の試合を戦うこととなります。戦い方も変わってくると思います。

パリオリンピックメンバー選考について、恩塚ヘッドは「今回のチームは、オリンピックの切符を取るために、どのメンバーで戦うのがいいかを考え抜いた結果です。(パリでは)OQTの結果を見た上でベストな選択をするのが私の仕事だと思っています。勝つために何ができるのか考えるのが私の使命です」

OQTで日本代表は、これまでにない進化を遂げました。それは恩塚ヘッドのハードワークがもたらした成果であることは間違いありません。本番に向けて、さらなる飛躍を期待したいと思います！

ここでパリオリンピックに出場する12カ国を紹介します。それぞれの会場の上位3チームです。

☆ブラジル会場 (ブラジル、オーストラリア、セルビア、ドイツ)

1位オーストラリア 2位セルビア 3位ドイツ (初出場)

☆ベルギー会場 (ベルギー、アメリカ、ナイジェリア、セネガル) ※アメリカはワールドカップ優勝のため、すでに出場権を得ています。上位2チームがパリ五輪出場です。

1位アメリカ 2位ベルギー 3位ナイジェリア

☆中国会場 (中国、フランス、プエルトリコ、ニュージーランド) ※フランスは開催国のため、すでに出場権を得ています。上位2チームがパリ五輪出場です。

1位フランス 2位中国 3位プエルトリコ

☆ハンガリー会場 (ハンガリー、スペイン、カナダ、日本)

1位日本 2位スペイン 3位カナダ

パリ五輪の抽選会は3月19日の予定です。さあここからは、後期Wリーグの後、パリオリンピックに向けて代表入りを目指しサバイバル合宿が始まると思います。恩塚ヘッドが、パリ五輪に向けて最終12人を誰にするのかも大注目です！！我々もエナジーを最大限に上げて応援しましょう！！